

琵琶湖のヨシ活用による障害者支援 環境保全プロジェクト

特定非営利活動法人 モスグリーン Eco

〒522-0323 滋賀県犬上郡多賀町一ノ瀬 330 番地

助成事業の概要

障害者及び高齢者の就労機会拡大を通して琵琶湖の「ヨシ群落」を守り、ヨシ農家の振興のためヨシパネルの新製品を製作して住宅屋根に施設、室内温度抑制、省エネ、都市ヒートアイランド防止に貢献し、新事業で障害者、高齢者就労支援で福祉活動を充実させ、環境保全を大きく展開していくための事業である。

具体的には「近江八幡市エコハウス」ガリュウム鋼板葺き和室屋根屋上に 7 月～ 9 月、ヨシパネルで覆う事で室内の温度抑制効果を出す実証実験を業界初の事業として取り組んだ結果、室内温度最高時で 6 度低下。

事業の成果

地域産業、福祉への貢献、波及効果

イ
今回ヨシの加工を福祉施設に 100%委託。30㎡で、延べ1、875名の就労が提供できた。（25日×15名（一組3～4名4班で午前、午後半日交代）=375×5カ月≒1、875人）

ロ
安土の西の湖のヨシは今回 30㎡で約 19,800 本であったが今後需要を拡大することができ、100㎡の利用だけで、各生産分野を総合的に新たな 3 倍の雇用が生まれる。

ハ
1～2 年で生産ベースを軌道に乗せて 500㎡の生産出来れば、ヨシ 6 万本～9 万本の需要拡大

になる。

ニ

今回室内温度を 6℃低下させる効果があり、事業拡大で省エネ、温暖化抑制の効果を期待できる、業界初の試みである。

成果の広報、公表

近江八幡市市役所の記者クラブで 記者発表 説明資料（平成 27 年 6 月 4 日発表分）
現代版よしず、温度抑制商品（仮称、屋上クーラヨシパネル）開発について

1. 今回事業の目的

NPO 法人モスグリーン Eco が小船木町の、近江八幡エコハウスに室内温度抑制効果測定の為、ヨシパネルの新製品を屋根に施設しました。

琵琶湖のヨシを活用し、障害者の就労機会を拡大しながら、琵琶湖のヨシ湿原を守り、西の湖の活用し、ヨシ農家の振興を促すとともに、温暖化を抑制するための事業です。

「（仮称）屋上クーラ ヨシパネル」新製品は、従来出来なかった一般住宅傾斜屋根に施設でき、室内温度抑制、省エネ、都市ヒートアイランド防止に貢献していくプロジェクトで、NPO としては将来障害者、高齢者支援、福祉と環境保全事業を柱に大きく展開していくことを目指しています。

2. 事業の具体的内容

琵琶湖のヨシを使って、障害者に俵状に編み上げ

の作業を委託、今回ガリウム鋼板住宅屋根をヨシパネルで覆い、室内温度の抑制効果を測定し、省エネ、環境保全商品を開発施設する。

サイズ《100×200cm》《30×60cm》二種類を編み、圧着した三層のパネルには防水遮熱塗料加工、ヨシパネルで室内は 3～5 度低下を予想している。新商品は、従来品のスナゴケを貼付けた「ヨシ緑化パネル」に比べ、温度抑制効果はやや劣るものの大幅な価格低下と傾斜屋根にも取付けが可能である。従来のヨシ緑化パネルは陸屋根対象で、傾斜屋根の取り扱いが出来ず、加えて価格も 19 千円であったが、ヨシパネル新製品の価格は 12 千円と安く（施工費別）できるため、需要拡大が期待できる。

3. 平成 27 年 6 月 5 日 中日新聞（びわこ版）に記事掲載

■ 今後の展開

今回の商品は従来のビルを対象にした事業から、一般住宅にも展開可能な商品で、従来商品と異なる用途となるため、それぞれ補完し合うプロダクトミックス効果が生まれる。顧客にとっても選択肢が増えるメリットがあり、シナジー効果を期待出来る。

●新製品：一般住宅の傾斜屋根の施工が可能に。価格を従来品より 37%引き下げ。

⇒対象ユーザーの幅が広がり、業界初の試みが、ビジネスとしても展開しやすくなる。

この結果から第一ステップで生産能力 500㎡《既存商品と合わせた量》の提供で拡大を目指す。